



NO. 2721 回 社会公益賞・キワニス文庫贈呈式

日 時 : 令和 8 年 7 月 3 日 (金)
場 所 : マリオットアソシアホテル 16 階 アイリス
出 席 者 : 63 名
一日議長 : 松井会長
ハッピーボックス : 8,000 円

☆今週のお誕生

鳥居 明会員 6 月 30 日
・松井会長よりグラスの贈呈

☆新入会員紹介

メンバーシップ 委員長の山本 光子会員よりご紹介
北川 尚子 (きたがわ しょうこ) 会員
昭和 53 年生まれ 愛知県出身
株式会社北川組 代表取締役社長
(紹介者) 藤岡次期会長、山本 眞一会員
齋藤 秀俊 (さいとう ひでとし) 会員
昭和 41 年生まれ 愛知県出身
トヨタ不動産株式会社 常勤監査役
(紹介者) 奥田 慶一会員
富田 悦司 (とみだ えつじ) 会員
昭和 32 年生まれ 愛知県出身
中部日本放送株式会社 常勤監査役
(紹介者) 伊藤 道之会員
鳥居 明 (とりい あきら) 会員
昭和 34 年生まれ 静岡県出身
東邦ガス不動産開発株式会社 顧問
(紹介者) 松井会長、鈴木事務局長
・松井会長よりバッジの贈呈

No.2722 令和 8 年 7 月 10 日 (金)
公益社団法人日本会員掖済会 名古屋掖済会病院
集中治療室看護師長
小児救急看護認定看護師 辻 和美 氏
「命のリレーの裏側～患者と家族の
思いをつなぐ移植医療の実際～」

No.2723 令和 8 年 7 月 17 日 (金)
文化庁
文化財調査官 小野 友記子 氏
「信長の城づくり事始」

No.2724 令和 8 年 7 月 24 日 (金)
名古屋市教育委員会
教育長 杉浦 弘昌 氏
「公教育がつくる 名古屋の未来」

No.2725 令和 8 年 7 月 31 日 (金)
三菱地所株式会社
執行役員 中部支店長 茅野 静仁 氏
「三菱地所グループ・
名古屋まちづくりへの挑戦」

No.2726 令和 8 年 8 月 7 日 (金)
創立 60 周年記念式典・記念祝賀会
記念式典 午後 5 時より
記念祝賀会 午後 6 時 30 分より
会場 : 名古屋マリオットアソシアホテル
タワーズボールルーム

I. 第 57 回社会公益賞・第 52 回キワニス文庫贈呈式

1. 会長挨拶

第 57 回社会公益賞ならびに第 52 回キワニス文庫贈呈式の開催にあたり、名古屋キワニスクラブを代表いたしまして一言ご挨拶申し上げます。本日の贈呈式には、受賞団体を代表されまして、次の皆様にご臨席を賜っております。

特定非営利活動法人チャイルドラインあいち 代表理事 高橋 弘恵 様

特定非営利活動法人はんどいんはんど 代表理事 原 武之 様

社会医療法人名古屋記念財団 名古屋記念病院 院長 長谷川 真司 様

名古屋市中央児童相談所 所長 橋本 好司 様

公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや ハウスマネージャー 持田 由美子 様

ご多用の中、ご臨席を賜りましたことに、心より御礼申し上げます。社会公益賞は、社会のため、人々の、特に子どもたちの幸せのために、長年にわたり献身的な活動を続けてこら

れた方々や団体の尊い功績を顕彰するとともに、その活動を広く社会に伝えることを目的として、1968 年より名古屋キワニスクラブが贈呈しているものであります。本年、第 57 回を迎えることができましたのも、ひとえに地域社会の皆様のご理解とご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。

また、キワニス文庫は、子どもたちに読書の喜びと学びの機会を届けたいとの願いのもと、1975 年より続けてまいりました事業であり、本年で第 52 回を迎えました。一冊の本との出会いが、子どもたちの夢や希望、そして未来への可能性を育む礎となることを願い、今日まで活動を続けてまいりました。

本年度の受賞団体ならびに選考経過につきましては、後ほど入谷文化公益委員長よりご報告申し上げますが、本日顕彰させていただく皆様は、それぞれの分野において長年にわたり社会課題と真摯に向き合い、多くの人々に希望と支えを届けてこられました。その活動に対し、名古屋キワニスクラブを代表して深甚なる敬意を表するものであります。

もとより、本日受賞される皆様のみならず、地域社会の各所において、子どもたちの健やかな成長と人々の幸せのために奉仕を続けておられる方々が数多くいらっしゃいます。そのような皆様にも、この場をお借りして心からの敬意と感謝を申し上げます。

名古屋キワニスクラブは、本年創立 60 周年という節目の年を迎えました。この 60 年の歩みを支えてくださった多くの先達の志を受け継ぎながら、私どもは「子どもたちのために」というキワニスの理念のもと、社会公益賞、キワニス文庫をはじめ、キワニスドールプロジェクト、里親フォーラムあいち、なごや子育てフォーラムなどへの支援活動、奨学金事業など、さまざまな社会奉仕活動に取り組んでおります。

社会環境が大きく変化し、子どもたちを取り巻く課題が複雑化する今だからこそ、地域に根ざした奉仕の精神が一層求められております。当クラブも微力ではございますが、地域社会の皆様と力を合わせ、未来を担う子どもたちのために、なお一層努力を重ねてまいり所存でございます。

そして、本日栄えある社会公益賞を受賞される皆様、ならびにキワニス文庫の贈呈を受けられる皆様に、心よりお祝いを申し上げますとともに、今後ますますのご発展とご活躍を祈念申し上げ、私の挨拶とさせていただきます。

ありがとうございました。

2. 選考経過報告 入谷文化公益委員長

文化公益委員会の入谷でございます。社会公益賞およびキワニス文庫の贈呈先選考の経過と選考理由について、ご報告申し上げます。

社会公益賞ならびにキワニス文庫の贈呈候補先につきましては、本年度も従来と同様、会員の推薦、愛知県・名古屋市など行政機関からの情報を参考にして、文化公益委員会を 5 回にわたり開催し、検討してまいりました。

まず、社会公益賞につきましては、前年度からの持ち越し分を含む候補先 7 団体（内今年度新規推薦 4 件）を対象に、活動内容、活動実績、財政状況などの観点から文化公益委員会の各委員が評価し、その結果を踏まえて候補先を絞り込み、さらに例会講師としてお招きし、講演を通じて活動実態を確認したうえで、最終選考を行いました。

また、キワニス文庫につきましては、5 件の候補先について、施設の利用状況や財政状況、地域性などを総合的に勘案して選考を進めました。さらに、候補先のうち 3 施設を実際に訪問し、施設の状況や図書の整備状況を確認してまいりました。

その結果、文化公益委員会として、社会公益賞 2 団体、キワニス文庫 3 団体を推薦し、役員会において正式決定した次第です。

続きまして、各贈呈先の概要を説明いたします。詳細につきましては、お手元の資料を併せてご覧いただければ幸いです。

社会公益賞の最初の贈呈先は、特定非営利活動法人チャイルドラインあいちです。

この法人の前身は、2000年に、子どもの成長を支える活動を目的として「名古屋おやこセンター」の名称で、「18歳までの子どもの専用電話」運用する事業として発足し、その後2004年11月にNPO法人格を取得しました。2008年からは全国フリーダイヤルに参加し、毎日16時から21時まで、子どもたちの電話相談に応じています。電話の外、オンラインチャットやその他の遠隔コミュニケーションツールを用いた「チャイルドライン」を開設し、子どもたちの声を受けとめ、自立を支援すると共に、子どもの健全な成長を支える社会基盤づくりに寄与することを目的として活動を続けています。現在は約80名のボランティアが活動に参加しており、子どもの権利条約の理念に基づき、子どもが自らの問題に気づき、向かい合い、自ら考えて解決していけるよう支援しています。

当クラブは、2005年にもこの法人に社会公益賞を贈呈しておりますが、その後20年の永きにわたり活動を継続している功績に鑑み、このたび2度目となる社会公益賞を贈呈するものです。

続きまして、社会公益賞2団体目の贈呈先は、特定非営利活動法人 はんどいんはんど様です。

この法人は、2016年8月、子育てに関わる課題の解決を図るとともに、地域の子育て支援サービスや地域コミュニティの向上と増進に寄与することを目的として設立され、この地域で、初めて病児保育事業を行うという先駆的な活動をされています。風邪を引いた病児などを慣れ親しんだ環境で安心して過ごせるよう、自宅訪問し、かつマンツーマンで保育しています。感染症の二次感染の心配が少なく、子どもの症状に合わせたきめ細かいケアができるのが特徴です。その外、情報発信のための事業説明会や保護者との交流会イベントなどの子育て支援事業や、研修を受けた地域の子育て経験者が、ボランティアとして定期的に家庭訪問し、傾聴と協働を意識した活動の家庭訪問型子育て支援（ホームスタート）事業を実施しています。本法人の活動を支援することは、社会貢献として意義があると考え、社会公益賞を贈呈するものです。

次に、キワニス文庫の贈呈先は3団体でございます。

最初の贈呈先は、社会医療法人 名古屋記念財団 名古屋記念病院 小児科 様でございます。

名古屋記念病院は「がん・免疫関連疾患」と「地域医療」を専門とすることを目標として1985年に開院しました。現在では急性期医療を担う病院として、救急医療に積極的に取り組んでいます。また、地域医療支援病院、災害拠点病院の指定を受け、2011年からは社会医療法人として、より公益性の高い医療提供を行っています。小児科は、アレルギーや感染症など幅広い分野に対応しています。2024年度の実績では、小児科の入院患者数は延べ4,525名、外来患者数は延べ18,043名と多くの小児患者の診療をおこなっています。

小児科病棟にはプレイルームが設置されており、図書が入院中の子どもたちの療養環境の充実に活用されています。小児科外来にもスペースがあり、外来受診の子どもたちが図書を利用することができます。このように、図書の更新や増強の必要性、有効性は高く、運営体制も十分であることから、キワニス文庫を贈呈するものです。

キワニス文庫贈呈先の二つ目は、名古屋市中央児童相談所様でございます。

名古屋市中央児童相談所は、名古屋市千種区を含め7つの区に居住する家庭などから、子どもに関するあらゆる相談を受け付け、子どもが抱える問題や置かれている環境を的確に把握し、一人ひとりの子どもとその家庭に対して最も効果的な援助を行うことで、子どもの福祉の向上を図るとともに、その権利を守ることを主な目的としています。

相談業務や必要に応じて一時保護や児童福祉施設への入所措置、里親委託などを行っています。付設されている一時保護所は子どもの最善の利益を考慮し2歳半から18歳未満の児童を対象とし、期間は原則2か月以内とする施設です。2025年度の利用者数は延べ532名

でした。

施設内には、共有スペース、学習室、幼児（未就学）ルームなどに図書が置かれ、多くの蔵書が整備されていますが、年齢に応じた幅広いジャンルの図書が引き続き求められている状況です。以上のことから、子どものために重要な役割を果たす施設であり、図書の提供による環境整備の必要性・有効性は高く、運営体制も十分に認められるので、キワニス文庫を贈呈するものです。

キワニス文庫贈呈先の三つ目は、公益財団法人ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや様でございます。このドナルドマクドナルドハウスは、1974年にフィラデルフィアに誕生し、日本では、1999年に、設立されました。困難な病気を患っている子どもとその家族を支援するため、医療施設の近くに安価で滞在できる施設を設置、運営することによって小児医療の充実と家族福祉に貢献すること、また、ボランティア活動についての啓発活動を行うことにより、医療・福祉への支援体制の確立に寄与することを目的としています。自宅から遠方の病院に入院している子どもと、その付き添い家族が第2の我が家として利用できる滞在施設です。

なごやハウスは、日本で9番目のハウスとして2013年に名古屋大学医学部附属病院の敷地内に開設され、12家族が滞在可能です。多くの方からの寄付やボランティアの善意と協力によって運営されており、本年4月からは利用料金を無料とするなど、利用者負担の軽減にも努めています。

施設内には、多目的室（図書室）、プレイルーム、リビングルームがあり、寄贈された図書が適切に管理・配置され、利用家族が自宅のように過ごせる環境が整えられています。以上のことから、図書の更新や増強の必要性、有効性は高く、運営体制も十分に認められるので、キワニス文庫を贈呈するものです。

3. 社会公益賞 受賞2団体に、表彰状ならびに賞金各50万円 総額100万円を贈呈
キワニス文庫 受賞3団体に、児童生徒用図書各23万円 総額69万円相当を贈呈

4. 受賞者ご挨拶

特定非営利活動法人 チャイルドラインあいち 代表理事 高橋 弘恵 様

この度は令和8年度社会公益賞に選んでいただき心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

チャイルドラインあいちは子ども専用の電話相談窓口として2000年6月に開設し、27年目に入りました。この間に社会状況の変化とともに子どもたちの話す内容も大きく変わりました。相談ツールが対面か電話しかなかった時代から固定電話を持たない家庭が増えたり公衆電話が減少したり、子どもが電話を掛けられる環境がなくなっていました。代わりにインターネットや携帯電話が普及し、現在は学校からタブレットが配布されオンライン授業ができるようになりました。チャイルドラインもそれに合わせて変化し、現在はチャットでの相談もできるようになり多くの子どもたちが利用してくれています。

最近では子どものAI利用も進んでいて、私たちのところにも「AIに相談したけどなんだかピンと来ない返事だったから」「AIに相談したら紹介されたから」と言ってチャイルドラインにアクセスしてくれる子が増えてきました。ボランティアの人たちとも、私たちがAIに負けない相談先になるには何が必要かということをよく話しています。子どもたちが自分に起こっている困難をAIに任せるのではなく、共に考えてその子自身が自分にとって最善の答えが出せるようにサポートできるよう今後も努力し続けていきたいと思ひます。

いじめや虐待、不登校、セクシャリティの問題、SNSでの人間関係、闇バイト、小中高生の自殺の増加と心配な状況は年々深刻になっています。大人が学び、変わらなければこの状況は続いていくだろうと考えています。

全ての子どもたちが明るい未来を語れる社会ではありませんが、今回子どもの現状に耳を傾けてくださり、このようなご支援をいただけることが私たちの活動のエネルギーになります。本日は本当にありがとうございました。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 はんどいんはんど 代表理事 原 武之 様

この度は社会公益賞に選定していただき、心から感謝申し上げます。私は、はんどいんはんどの代表を務めさせていただいている原 武之と申します。代表と申しましたが、それは単なる名前であって、私たちとしてはこの活動に参加していただいているみんなが少しずつ力を分け合って成り立っている活動であると思っていますので、参加していただいているみんながはんどいんはんどの実質的な代表であると思っています。

病児保育と聞くと子どもを預かるから責任が重い、それに相当な時間をかけないといけない、興味があるけどそこまでコミットできないなと思う方もいらっしゃると思います。しかし、それぞれの方が専門的知識や育児経験などを持っています。その経験や自分を 100 分の 1 でもこの活動に使っていただければ本当にうれしいですし、小さな力でも参加していただくことに大きな意義があると思っています。現に代表である私がそのような小さい力の 1 つでしかありません。

私が病児保育に興味を持ったのは今から 19 年ほど前のことです。子どもが風邪をひいて会社を休まないといけないうきに、会社の目は厳しく、お母さんたちも疲弊して泣いている姿を見て、こういう問題が社会にあるということにはじめて気づき、東京の病児保育団体の手伝いをしたことがはじまりです。

それから 19 年経ち、在宅勤務なども普及し、病児のために休暇をすることについて世間の理解も増えてきたと思います。それでもまだ休みにくいという話は多く聞こえますし、病児保育の必要性は減っていないと思いますが、私達のような活動は社会がよくなれば、その必要性がなくなるので、本当は私たちの活動はもういらぬねと言われる日が来てもらいたいとも思っています。いつしかもう病児保育のはんどいんはんどは役目を終わったから、他の社会貢献活動をがんばろうよと言われる日が来ることを祈って、お礼のあいさつとさせていただきます。

名古屋記念病院 院長 長谷川 真司 様

皆様こんにちは。只今ご紹介にあずかりました社会医療法人名古屋記念財団 名古屋記念病院 院長の長谷川 真司と申します。このたびはキワニス文庫の図書贈呈先として当院をお選びいただきましたこと、心より御礼申し上げます。また、子どもたちへの奉仕活動に長年ご尽力されている皆さまのこれまでのご活動には、深く敬意を表します。

今回のご縁を機に、私の父も名古屋キワニスクラブ様とご関係があったことを知り、歴史と活動の広がりを感じて感ずる機会となりました。

現在、医療現場は依然として厳しい状況にあり、小児医療も例外ではありません。医療格差を生じさせないことや、多様化する医療ニーズへの対応が一層重要となっております。当院の小児科は 1996 年に開設し、微力ながら、地域の子どもたちの健康を支えることに尽力してまいりました。

このたびご寄贈いただきました図書は、多くの子どもたちが本に親しみ、読書の楽しさに触れる貴重な機会となるものと期待しております。小児科病棟は、例えば、感染症やアレルギーなどによって、突然入院加療が必要となり、不安や痛みを抱えて、慣れない部屋で入院生活をしなくてはならない子どもたちが多くいます。そうした子どもたちの気持ちを少しでも軽くして過ごしてもらえるように、大変ありがたく、貴重な支援として大切に活用させていただきます。

今後も地域から広く愛され、信頼される病院となるため、職員一同とともに、医療人としての誇りと情熱を持ち努力してまいります。

結びに、このたびのご支援に重ねて御礼申し上げますとともに、名古屋キワニスクラブ様の今後ますますのご発展をお祈り申し上げます。本日は誠にありがとうございました。

名古屋市中央児童相談所 所長 橋本 好司 様

皆さまこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました名古屋市中央児童相談所所長の橋本と申します。このたびは第 52 回キワニス文庫を贈呈いただき、誠にありがとうございました。職員及び一時保護所の児童を代表してお礼申し上げます。

当所は、名古屋市内に 3 か所ある児童相談所の一つとして千種・東・北・中・昭和・守山・名東の 7 区を管轄し、虐待を始めとした子どもに関するあらゆる相談に応じています。名古屋市内の児童相談所には 25 名定員の一時保護所が附設されており、迅速な子どもの安全の確保及び子どもの心身の状況や置かれている環境の把握等を目的に一時保護を実施しています。

年齢や一時保護に至った背景も、虐待や非行など一人ひとり異なる子どもたちと集団生活を送ることになります。そのため、一時保護された子どもたちにとって、この環境は大きな不安や精神的な負担を伴うものとなっています。職員は子どもに安心感をもたらすことができるように丁寧なケアに努めていますが、今回贈呈いただいたキワニス文庫が豊かな本の世界を知る一步となるように活用させていただき、より一層子どもたちの支援に尽力していく所存です。

最後になりますが、名古屋キワニスクラブ様の益々のご発展と皆様のご健勝をご祈念申し上げます。お礼の挨拶とさせていただきます。本日は本当にありがとうございました。

公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン

ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや ハウスマネージャー 持田 由美子 様

みなさまこんにちは。ただいまご紹介にあずかりました 公益財団法人 ドナルド・マクドナルド・ハウス・チャリティーズ・ジャパン ドナルド・マクドナルド・ハウス なごやハウスマネージャーの持田でございます。

このたびは、第 52 回キワニス文庫の贈呈先として、当ハウスをお選びいただきましたこと、大変光栄に存じます。ハウスを代表いたしまして、心より御礼申し上げます。

「ドナルド・マクドナルド・ハウス なごや」は、名古屋大学医学部の敷地内に 2013 年に開設された、病気と向き合う子どもとご家族のための滞在施設です。運営は 100%みなさまからの寄付や募金、そして地域のボランティアさんに支えられております。

治療のために、自宅を離れ付き添うご家族は、先の見えない不安や心配、自宅と病院との二重生活より、精神的にも、身体的にも、そして経済的にも、大きな負担を抱えていらっしゃる。ハウスは、そんなご家族が病院の近くで、安心して過ごせるよう支援しております。そして 2026 年 4 月からは、必要とされるご家族に、ためらうことなくご利用いただけるよう、利用料を無償化いたしました。

また医療の現場で大切にされている「ファミリーセンタードケア」の考え方のもと、私たちハウスも、患児とご家族を共に支える環境づくりの一端を担い、社会で支える仕組みづくりにも寄与してまいりたいと考えております。

今回いただく本は、ハウスで過ごす子どもたち、ごきょうだい、ご家族にとって、不安な時間を和らげ、心を温めてくれる大切な贈り物になります。皆さまの温かいお気持ちを大切に、これからも子どもたちとご家族に寄り添ってまいります。

本日は誠にありがとうございました。

☆会務報告

- ・ 本日例会終了後、櫛の間に 60 周年記念事業実行委員会を開催致します。ご関係の方はお集まり下さい。
- ・ 令和 9 年度の会員名簿アンケートをお送りいたしました。ご回答は 7 月 15 日（水）を締め切りとさせて頂いておりますので、よろしくお願いいたします。
- ・ 名古屋市内の幼稚園保育園の連合体である名古屋市幼児教育研究協議会が主催し、当クラブが協賛する「なごや子育てフォーラム」が本年は、7 月 11 日（土）午前 10 時 20 分よりクロコくんフォーラムレセプションホールで開催されます。今年はスマイルソングユニットの「ぼくときみ。」が親子のふれあう機会を提供します。会員の皆様もぜひご見学にお越し下さい。
- ・ すべての催しは当クラブ HP の会員専用ページからもお申込み頂けますのでご利用ください。

☆ハッピーボックス

緒形 允彦会員ー誕生日

山田 一晴会員ーラッキー賞

下川 浩平会員ーゴルフチャリティー

◎次回例会 令和 8 年 7 月 10 日（金）◎

公益社団法人掖済会 名古屋掖済会病院 集中治療室看護師長・
小児救急看護認定看護師 院内移植コーディネーター 辻 和美 氏
「命のリレーの裏側～患者と家族の思いをつなぐ移植医療の実際～」

♪申込み受付中の行事

第 323 回・第 324 回 木曾駒遠征ゴルフ会

日時：令和 8 年 9 月 5 日（土）～6 日（日）

場所：木曾駒高原カントリークラブ

日本地区年次総会 大分大会

締切【7/15】

日時：令和 8 年 9 月 11 日（金）～12 日（土）

場所：ホテル日航大分オアシスタワー

エクスカーション 9 月 12 日（土）

① 大分別府地獄巡りバスツアー

② 国東半島国宝・仏の里バスツアー

③ 湯布院散策・別府温泉宿泊ツアー

④ 記念ゴルフコンペ 湯布院高原ゴルフクラブ